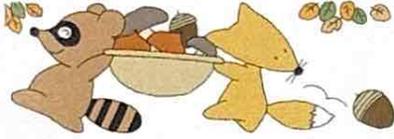


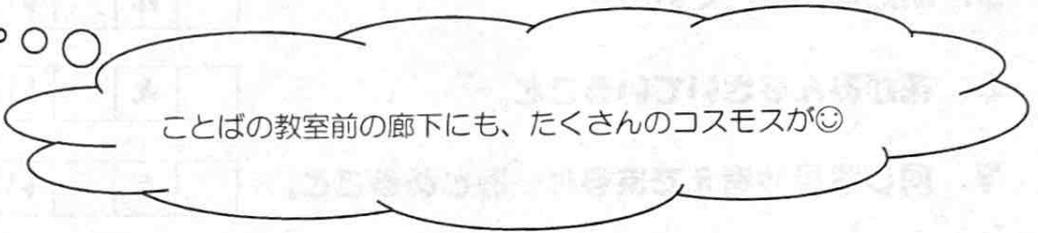


### しゅうかくの秋です



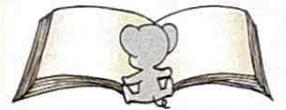
雨の日が続いたり、秋の声を聞くようになっても蒸し暑かったりと、体調管理が難しい日々が続いています。でも、心と周りの景色を見てみると、ススキやコスモスが咲き始めており、少しずつ秋が近づいてきているのだと感じます。

小学校では、遠足や宿泊研修、陸上記録会、音楽会と、教科の学習とは一味ちがう様々な活動がめじろおしです。「お話タイム」で、みなさんからどんなお話を聞かせてもらえるのか、楽しみにしています♪



ことばの教室前の廊下にも、たくさんのコスモスが◎

## 子どもたちと”対話”するために・・・



夏休みに、国立特別支援教育総合研究所の牧野泰美先生による、「吃音のある子どもへの指導・支援」という講演を聞く機会がありました。吃音のある子どもだけに限らず、子どもたちと“対話する”ことの大切さを、改めて実感しました。

牧野先生のお話の中で、子どもと関わるうえで、本人の思いや考え、背景を理解することや、じっくり聞く・話し合うことに加えて、まず、話す相手（ことばの教室で言うと、担当者）が、子どもにとってどんな存在であるかが大切だということをおっしゃっていました。

ありのままにいられる相手、自分が出せる相手、ホッとできる相手、話したい相手……。大人であっても、「話しても大丈夫かな?」、「この人には話してみようかな?」と、身構えることがあると思います。少しのドキドキや不安をもって過ごしている子どもたちが、「ここでは、思いっきり話しても大丈夫!」と、安心できる存在でありたいと思います。そのためには、子どもたちが発する1つ1つの言葉に、じっくりと耳を傾けることが大切だなど、改めて考える機会となりました。

コスモス

まご・みちお

だれかに	ーりん	グラスに	ーりん	あそんで	てを	つないで	ともだちと	みんな	ともだちが	すき	コスモス	コスモス	コスモス	あおそらが	すき	あおそらを	みあげて	みな	はればれと	うたってる	
あげたいの	だけれど	さしたいの	だけれど	あそんで	つないで	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな	みんな

